



2026 年 10 月 8 日
一般財団法人 児童健全育成推進財団
ナイキジャパングループ合同会社

**スポーツの秋！こどもの運動不足解消へ
運動遊びプロジェクト「JUMP-JAM」が今年で 10 周年！
開発した 100 のゲームの公開とともに
オ ー タ ム ア ク シ ョ ン
「JUMP-JAM Autumn Actions」を呼びかけ
期間：2026 年 10 月 12 日(月・祝)～11 月 20 日(金)
場所：全国の JUMP-JAM 実施児童館・放課後児童クラブ**

一般財団法人児童健全育成推進財団（本部：東京都千代田区、理事長：鈴木一光 以下児童健全育成推進財団）は、ナイキジャパングループ合同会社（本社：東京都港区、ゼネラル・マネージャー：マイケル・ハンター 以下ナイキ）とのパートナーシップにより実施している運動遊びプロジェクト JUMP-JAM（ジャンジャン）を実施しています。2017 年にスタートしてから本年度で 10 周年を迎え、全国で一斉にプログラムを実施する「JUMP-JAM Autumn Actions(オータムアクション)」を今秋開催します。10 年間で構築した運動遊びを全国へ広げ、こどもの健やかな育成と運動機会を創出します。



JUMP-JAM に参加するこどもの様子



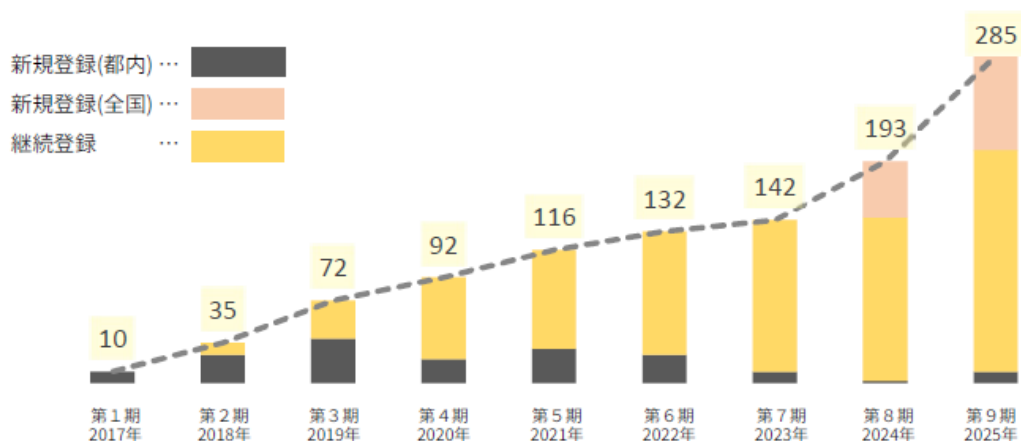
専門トレーニングに参加するスタッフの様子

◆10 年で参加人数は延べ 14 万 2 千人超え、全国 300 か所以上に活動を展開

JUMP-JAM は、誰もが運動の得意・不得意に関わらず楽しめるプログラムとして 2017 年に東京都内 10 館の児童館からスタートしました。こどもの体力・運動能力の低下が社会的な課題となる中、「遊びながらからだを動かす」機会を創出・提供し、運動習慣につなげていくことを目的としています。

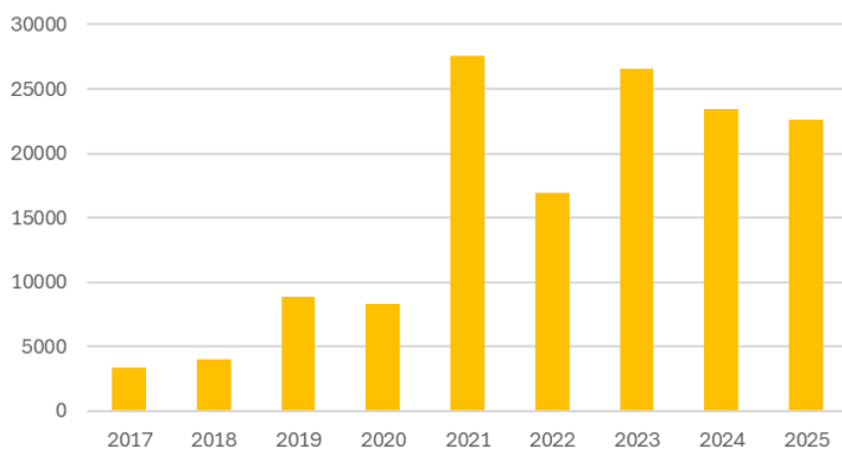
東京都内の児童館からモデル的にスタートした JUMP-JAM はこの 10 年で全国へと活動の輪を広げ、現在は放課後児童クラブも登録対象となり、北海道から沖縄まで 36 都道府県に広がっています。2026 年 9 月現在では 300 か所以上で実施するまでに拡大しました。また、学年・性別問わず、すべてのこどもが楽しくからだを動かすことができるコンセプトで開発されたゲームは 100 種類となりました。こどもの参加人数は、10 年間で男女合わせて延べ 14 万 2 千人を超え、学年構成では小学生が 9 割以上となっています。

【過去9年間の登録施設推移】(2025年5月末現在)



(※2026年9月現在 300 か所以上、登録施設数は増加傾向)

【参加したこどもの延べ人数】



(※2026年9月現在、参加したこどもの延べ人数は14万2千人以上)

◆JUMP-JAMの専門トレーニング体験者も2,000人以上に

児童館・放課後児童クラブのスタッフがこどもの運動遊びに特化した理論、実技を学ぶ「スタッフトレーニング」修了者はこの10年で2,000人を超えています。また、各地域でプログラムを実施・指導ができるトレーナーの育成にも力をいれており、全国約100名を数えるトレーナーは、地域のリーダーとしてJUMP-JAMの理念と技術を普及する原動力となっています。



◆参加した子どもたち、職員にも変化が生まれる

JUMP-JAM の体験を通じて、参加した子どもたちや職員にもさまざまな変化が生まれています。

<こどもの変化の様子>

- ・ 普段あまり児童館を利用していなかった女子が、JUMP-JAM に参加してハマり、JUMP-JAM をしに児童館来てくれて、自分たちが遊びたいゲームを選び参加しています。普段はあいさつや声かけ程度の会話しかなかったのが、JUMP-JAM に参加し、職員や異学年との会話も増え、コミュニケーションを取れるようになるきっかけになりました。
- ・ 人数が少なくても、学年、性別関係なく、みんな仲良く元気に楽しく JUMP-JAM をしています。チーム戦の JUMP-JAM でも、誰とチームになってもコミュニケーションが取れていたり、自然に作戦会議をしていたり、励ましあっていたりと、人数の大小にかかわらず JUMP-JAM をしやすい環境になっています。

<職員の変化の様子>

- ・ 新人への指導を通して、既存のスタッフは JUMP-JAM を見つめなおし、振り返る機会となり、また楽しい JUMP-JAM となるように計画をし始めるようになりました。
- ・ 職員主導から子ども主体のイメージが定着でき、子どもへの問いかけの力が向上しています。

◆秋の特別企画「JUMP-JAM Autumn Actions(オータムアクション)」概要

- ・ 目 的：全国一斉に JUMP-JAM を実施することで、地域を超えた一体感を生み出し、子どもたちがからだを動かす楽しさを再発見するきっかけを作ります。また、こどもの気持ちに寄り添い、こどもが遊ぶ時間を大切にしようとして全国で活躍する JUMP-JAM スタッフを応援します。
- ・ 開催期間：2026 年 10 月 12 日(月・祝)【スポーツの日】～11 月 17 日(金)【世界こどもの日】
- ・ 実施場所：全国の JUMP-JAM 実施児童館・放課後児童クラブ
- ・ 企画内容：(1) 児童館・放課後児童クラブでの日常的な運動遊びのきっかけづくり
(2) JUMP-JAM 実施の促進、地域・保護者を巻き込んだ体験イベントの開催
(3) JUMP-JAM サイトを通じた全国の実施状況の共有・発信
※SNS に投稿する際は、ハッシュタグ「 #ジャンジャンやってるよ 」を付ける

◆JUMP-JAM10 周年を記念し、10 年の成果と 100 のゲームを公開

JUMP-JAM プロジェクトのスタート 10 周年を記念し、開発・実践を重ねてきたゲームを一冊にまとめました。全国の子どもや実践者のみなさまとともに作り上げてきた 10 年間の歩みや、トレーナーの皆さんの協力と、専門家たちの監修を受けた 100 種のゲームが詰まっています。冊子は、すべての JUMP-JAM 登録施設へ配付するとともに、一般の方向けに 10 年の成果を公式サイトへ公開します。



※JUMP-JAM 公式サイト：<https://jump-jam.jp/>

■主催：児童健全育成推進財団について

こどもの健全な育成を図るため、地域で活動する児童館・放課後児童クラブ・母親クラブの活動を支援しています。また、児童館職員等の人材育成のための各種研修会等を実施し、こどもの健やかな成長・発達を推進するための育成環境づくりに貢献しています。

(児童健全育成推進財団公式サイト：<https://jidoukan.or.jp/>)

■協力：一般社団法人 ルーデンスジャパン

運動遊びやスポーツの普及に係る人材育成等を行うことにより、すべての人が等しく健康で豊かな未来を切り拓いていける社会形成並びに身体的・精神的・社会的に健全な状態を維持・増進できる環境づくりを行っています。

(ルーデンスジャパン公式サイト：<https://ludensjapan.org/>)

■助成：ナイキ (ソーシャル・コミュニティ・インパクト チーム) について

ナイキは、すべての若者がプレーし、それぞれの可能性を最大限に引き出せるように、活発でインクルーシブな世界をビジョンに掲げて、次世代のスポーツの未来に活力をもたらします。なぜなら、次世代のスポーツの未来はナイキの未来だからです。私たちは、コミュニティ組織、アスリート、専門家、従業員と力を合わせて、すべての人が簡単にスポーツにアクセスし、体験できるように変革をもたらします。私たちは質の高いコーチングを提供し、より多くの女の子たちがスポーツに参加できるようにし、多くの若者を傍観者にしていく社会的障壁に対処することに注力しています。コミュニティの繁栄には、すべての若者たちに遊びが必要であり、活動的な次世代とは、より良く、より公平な未来を意味します。スポーツの力を通じて世界を前進させるという

Nike の目的 (<https://about.nike.com/en/impact/focus-areas/empowering-communities>) の一端を担う、Social & Community Impact の活動の詳細をご覧ください。

■監修：JUMP-JAM アドバイザリーボード

運動遊びプログラム JUMP-JAM の運営に関して広く有識者の助言を得るために、こどもの健全育成、健康や運動に関する知見を有する学識経験者で構成するアドバイザリーボードを設置しています。

※50 音順

- ・津山薫 教授 (日本体育大学 体育学部健康学科)
- ・西川周作 選手 (浦和レッズ)
- ・引原有輝 教授 (千葉工業大学 創造工学部)
- ・吉永真理 教授 (昭和薬科大学 臨床心理学研究室)

■児童館について

18 歳未満のこどもが自由に無料で利用することができる児童福祉施設です。全国に約 4,300 か所あり、こどもが楽しく遊びや運動をすることができます。各児童館では、専門職員 (児童厚生員) によりさまざまなプログラムを実施し、こどもの健全な育成を行っています。

(※児童館の情報サイト「コドモネクスト」：<https://www.kodomo-next.jp/>)

<本件に関するお問い合わせ先>

一般財団法人 児童健全育成推進財団 担当：^{なたあみ}芳網・出口
TEL : 03-3486-5141 E-mail: info@jump-jam.jp